

平成24年度 宇都宮市立瑞穂野中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

【基本目標】人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、21世紀をたくましく生きる人間を育成する。

【具体的な生徒像】

- ・心身ともに健康で気力あふれる生徒
- ・自ら学び創造性に富む生徒
- ・勤労を尊び責任感のある生徒
- ・思いやりがあり心豊かな生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒が達成感を味わえる学校、保護者・地域住民から信頼される学校づくり

3 学校経営の方針（中期的視点）

- (1)9年間を通して生きる力を育む小中一貫教育の最終段階として、学びを広げ深められる環境を整える。
- (2)生徒が安心して自分の成長と向き合うことができるように、公正で温かな学校づくりに努める。
- (3)教師自ら豊かな心と愛情を持ち、全校的な協力体制のもとで、本校の歴史と伝統を生かした、調和と統一のある教育活動を展開推進する。
- (4)教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間を通して、生徒自らが考え行動できる資質を養うため、創意ある教育課程編成に努める。
- (5)多様な生徒の存在を認識し、適正な生徒理解や指導方針に基づき、個に応じた適切な指導ができるように努める。
- (6)教職員は、常に自己研鑽に励み、専門職としてその資質の向上に努める。
- (7)小学校や保護者・地域社会との連携を密にし、開かれた学校をめざし、特色ある学校づくりに努める。
- (8)本年度の努力点と具体策を設定し、その具現化に努め、教育目標達成をめざす。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（学 校 運 営）

地区内小学校・家庭・地域との連携を図り、生徒の学びの質を向上させる学校づくりの推進

（児 童 生 徒 指 導）

思いやりの気持ちを持ち、正しい判断のもと、粘り強く最後までやり遂げることができる生徒の育成

（健 康 ・ 体 力）

自ら進んで健康や体力の向上に励むことのできる生徒の育成

（学 習 指 導）

自ら学び考える力を育成し、基礎基本の定着を図る学習指導のあり方の工夫

（言語活動の充実を図り、目標を明確にしたわかる授業の実践を通して）

5 自己評価（A は共通評価指標、B は学校独自評価指標）

（評価指標の【全】は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項 目	評価指標	主な具体的な取組	方 向 性	評 価
--------	------	----------	-------------	-----

教育 全 体 の 状 況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 85%	・行事等での生徒の活躍の場を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に即した指導計画を立て実践する。	B 【達成状況】 生徒の 90.3%、保護者の 86.5%、地域住民の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 生徒会の各種委員会を活性化させ、主体的に活動できるようにする。
	A2 教職員は、組織の一員として誠実に熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・校内の研究授業を活性化させ、教員一人一人の資質を高める。 ・部活動を効果的に実施する。	B 【達成状況】 生徒の 92.5%、保護者の 80.4%、地域住民の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 校内の研究授業はもとより、日常的に教師相互が授業を見せ合うなどして授業力向上を図る。
	A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生活目標を設定して生徒にきまりやマナーについて考えさせる。 ・定期的な確認や声かけを全職員共通理解の下実践する。 ・服装や事業時刻等、基本的な事項の指導の徹底を図る。	B 【達成状況】 生徒の 90.7%、保護者の 92.0%、地域住民の 100%、教職員の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 教員・保護者の共通理解のもと、指導の充実を図る。
	A4 わかる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生徒の実態に応じた、分かりやすい授業の実施に努める。 ・基礎的基本的な内容の習熟を高める。 ・体験的・問題解決的な授業を多く実施する。 ・保護者に授業参観への出席を呼びかける。	B 【達成状況】 生徒の 91.6%、保護者の 70.2%、地域住民の 83.3%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 TTなどを効果的に行い、一人一人にきめ細やかな指導を行う。
	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 85%	・学校行事を精選するとともに、効果的な運用を行い、教育課程を適切に実施する。 ・土曜授業を効果的に活用する。	B 【達成状況】 生徒の 87.2%、保護者の 92.6%、地域住民の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 土曜日授業の効果的な運用を行う。
学 校 運 営 の 状 況	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 85%	・学校だよりやHPにより、自治会回覧板等を活用し、学校の情報を発信する。 ・学校公開日を設定する。 ・学級便りの発行を推奨する。	B 【達成状況】 生徒の 90.3%、保護者の 86.5%、地域住民の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 ホームページでの積極的な発信に努める
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・PTA行事には、教職員が積極的に参加できるようにする。 ・地域協議会を核として、地域ボランティアの活躍の場をつくる。	A 【達成状況】 生徒の 85.4%、保護者の 88.3%、地域住民の 92.3%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 それぞれの役割を明確にし、共通理解のもと連携して活動する。

教育活動の状況	生	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生徒の作品等を掲示し、学習意欲を高める。 ・日常の清掃活動の充実を図る。 ・潤いのある学校環境、美化に努める。	B	【達成状況】 生徒の 93.8%、保護者の 92.3%、地域住民の 91.6%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 生徒一人一人に自覚を促し、責任を持って分担場所をきれいにさせる。 掲示物の破れや汚れを見逃さず、常に整然とした状態を保つようにする。 花や植物を置き、潤いのある環境にする。
		A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・職員研修を計画的に実施し、教師が互いに授業を見合うなど、授業力の向上に努める。		【達成状況】 生徒の 94.2%、保護者の 88.1%、地域住民の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 教科部会を活性化させ、方針を持って授業に取り組む。
		B1 ①保護者や地域との連携による生徒の健全育成 ②職員間の共通理解による生徒の健全育成 【数値指標】 肯定的評価 80%	・家庭訪問、三者懇談等により保護者との連携を図る。 ・魅力ある学校づくり地域協議会を中心とした事業を展開し、地域との交流を図る。 ・学年を越えて情報交換を密にし、組織を生かした指導を展開する。	B	【達成状況】 保護者の 79.7%、地域住民の 85.7%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 生徒の状況について、全教職員が共通理解をし、組織的に行動する。
	活	A10 自ら進んであいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生徒会によるあいさつ運動を実施し、進んであいさつができるようにする。 ・地区内の小学校や地域と連携して実施する。	A	【達成状況】 生徒の 94.2%、保護者の 88.1%、地域住民の 100%、教職員の 93.1%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 小中学校や地域・保護者と連携し、あいさつ運動のより充実を図る。 時、場所に応じた適切なあいさつを指導する。
		B ①基本的生活習慣の指導 ②規範意識の高揚 ③望ましい集団づくり ④個に応じた指導の充実 ⑤家庭、地域、各関係機関との連携 【数値指標】 肯定的評価 80%	①スタンダードダイアリーの活用 ②いじめのアンケート ③QU 検査 ④各種だよりや保護者会での啓蒙啓発 ⑤のぞましい言語環境づくり ・地区内の小学校と連携して実施する。	B	【達成状況】 生徒の生活状況はアンケートの4項目の肯定的回答の平均が 91.7%となっている。 【次年度の方針】 生徒の基本的生活習慣の確立や規範意識を高めるため、各種部会を通して生徒の状況を的確に把握し、指導に当たる。

健康・体力	A11 毎日朝ごはんを食べ、栄養のバランスを考えた食生活をしている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・朝食の摂取状況を定期的に調査し、改善を図る。 ・バランスよく食べることの重要性を理解させ、意識の高揚を図る。	B	【達成状況】 生徒の 68.2%、保護者の 73.3%、地域住民の 87.5%、教職員の 79.3%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 食事の大切さ・栄養バランスについて、折に触れて指導する。 地域の食材を活用した給食メニューを工夫する。
	B ①望ましい食生活習慣の育成 ②健康・体力の向上 ③家庭や地域との連携協力 【数値指標】 肯定的評価 80%	①食生活アンケートの実施 ②行事と関連させて運動を奨励したり各種検定表を活用 ③保健だより、給食だよりの発行 ④メニューの工夫 ・地区内小学校と連携して実施する。 ⑤弁当の日を小中と連携して実施するなど、食に関する意識を高める。	A	【達成状況】 積極的な運動へのかかわりは、生徒 83.2%、保護者 81.0%、教職員 86.2%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 地区内の小中学校共通検定表の効果的な活用を工夫する。 地域の食材を活用した給食メニューを工夫する。
	A12 授業に意欲的に参加し、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・学校園内で学習態度・技能の指標をつくるとともに、全校体制でチャイム着席を励行し、落ち着いた態度で授業に臨むようにする。 ・毎時間学習目標を明示するなど、生徒が具体的な目標を持ち、継続的に取り組めるようにする。 ・生徒が主体的に活動できる学習活動を工夫する。	A	【達成状況】 生徒の 83.2%、保護者の 81.0%、地域住民の 91.0%、教職員の 86.2%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 TT や習熟度別学習を効果的に行うと共に、かがやきルームの利用促進を図る。
	B ①基礎基本の確実な定着 ②学習指導の工夫・改善 ③読書活動の充実 ④家庭・地域との連携・協力 【数値指標】 肯定的評価 80%	①漢字と計算テストの実施 ②個別指導の充実 ③言語活動の充実 ④放課後や長期休業中の補修授業による指導 ⑤朝の読書活動 ⑥図書館便りの発行 ⑦保護者会での家庭学習の啓発と協力依頼	A	【達成状況】 学習状況では、生徒の 83.7%、保護者の 86.6%、教職員の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 毎時の学習目標を明確にして授業に臨ませるとともに、家庭学習を充実させ、基礎基本の徹底に係る。

本校の特色・課題等	B 友だちや教職員、地域の方々とのかかわり合いを深め協力して行う活動を体験する中で、地域のよさを自覚し郷土への親近感を持ち、社会の一員としてよりよい生活を築いていこうとする態度の育成 【数値指標】 肯定的評価 80%	①学校行事、生徒会活動による地域との交流 ②総合的な学習の時間などでの地域人材の活用と地域との交流 ③PTAや地域行事への生徒・教職員の積極的な関わり ④瑞穂野地区学校園を核としての小学校との連携	B 【達成状況】 地域行事への積極的な参加では、生徒の63.4%、地域が好きでは、88.5%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 地域の行事への積極的に参加できる雰囲気を醸成するとともに、ボランティアの募集方法を工夫する。
-----------	--	--	---

〔総合的な評価〕

ほとんどの項目で設定した数値指標（肯定的回答80%～85%）は達成されており、教育目標に即して充実した学校教育が実践されたと考える。

- ・教育課程及び保護者や地域等の連携、学習環境などの学校全体の状況は、肯定的な回答が多かった。
- ・生徒はあいさつがよくでき、地域の方や教職員からの評価も高い。言葉づかいも丁寧である。地域の活動にも積極的に参加する生徒も見られる。
- ・生徒は落ち着いて学習に取り組むことができるが、やや消極的な面があり発言が苦手な生徒が多い。
- ・給食の好き嫌いについては、他の項目に比べて肯定的な割合が低い傾向にあり、家庭と連携して取り組む必要がある。

6 学校関係者評価

- ・あいさつ運動は生徒も先生もとても熱心に行っていた。生徒の健全育成のためには、教員や地域などの大人が態度で示すことが大切である。今後も地域・保護者・学校が連携を深めるとともに、地域の小学校とも一丸となって瑞穂野の教育活動を推進していくことが大切である。
- ・生徒は生き生きと学校生活を送っている様子がわかる。素直で落ち着いた生徒が多い。
- ・中学生が地域の様々な活動にボランティアとして積極的に参加してくれるので地域の方も感謝している。今後もより一層かかわりを深め地域を大切にする生徒を育てるためにも、より多くの生徒が参加できるように募集の仕方などを検討してほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

学校評価については、生徒・保護者・地域の方から貴重な意見をいただき感謝しています。この結果を受け、平成25年度の学校経営について新学習指導要領の趣旨をいかしながら、特に下記のこと重点的に取り組んでまいります。

- ・生徒一人一人の良さを認め、生徒が夢と希望を持って学校生活が送れるようにする。
- ・生徒一人一人が具体的な目標を持ち、意欲的に日々の学習に取り組めるように指導法を工夫する。
- ・生徒が主体的に活動できるよう、各種の学校行事や生徒会活動を工夫する。
- ・小中学校で連携をより一層深め、基礎的、基本的学習内容の習得をより確実にする。
- ・地域と積極的にかかわり、地域を大切にする生徒を育てる。